

## 「公共情報コモンズ」を考えるセミナーを開催

－ “大規模災害等発生時の情報伝達共有基盤” の北陸3県への導入に向けて－



総務省北陸総合通信局 齊藤局長の挨拶

平成 24 年 7 月 12 日（木）、金沢市内において、北陸総合通信局、北陸地方非常通信協議会、北陸情報通信協議会の共催により、「公共情報コモンズ」を考えるセミナーを開催しました。

公共情報コモンズは、従来は情報を発信する側とその情報を住民に伝える側が 1 対 1 で個別に対応していたものを、すべての機関が共通の仕組みやフォーマットを通じて、情報を発信し、伝達するためのもので、平成 23 年 6 月から運用が開始されています。

セミナーでは、公共情報コモンズの北陸 3 県への可能な限り早期の導入に向けて、関係者の理解と認識を深めることを目的として、運営主体である一般財団法人マルチメディア振興センターと先進利用自治体である兵庫県から講師をお招きし、ご講演をいただきました。

冒頭、総務省北陸総合通信局 齊藤局長が、『『公共情報コモンズ』は、災害国の日本にとって、各地域が整備すべき最低限必要な情報インフラである、北陸においても可能な限り早期の導入を目指し、地域の関係機関の方々が集まり、具体的に検討を進めていくための場として、7 月 4 日に北陸情報通信協議会内に安心・安全部会を立ち上げた、今回のセミナーを北陸への早期導入に向けてのキックオフにしたい』等公共情報コモンズへの期待を述べました。

セミナーでは、講演Ⅰ（公共情報コモンズの概要）として、

演題 「地域の安心・安全を支える公共情報コモンズ」

講師 一般財団法人マルチメディア振興センタープロジェクト企画部長 川喜多孝之 様

講演Ⅱ（先進利用事例）として、

演題 「兵庫県における公共情報コモンズの取り組み」

講師 兵庫県企画県民部企画財政局 情報企画課長 東川玲 様

からご講演をいただきました。情報の発信者になる県、市町村の担当者、情報の伝達者になる放送、新聞等の各メディア、電気通信事業者の担当者等 130 名の参加があり、有意義なセミナーとなりました。



セミナーの様様  
講師の川喜多様、東川様

セミナーの担当 無線通信部陸上課 076-233-4480

北陸情報通信協議会（安心・安全部会）及び公共情報コモンズの担当

情報通信部情報通信振興室 076-233-4430